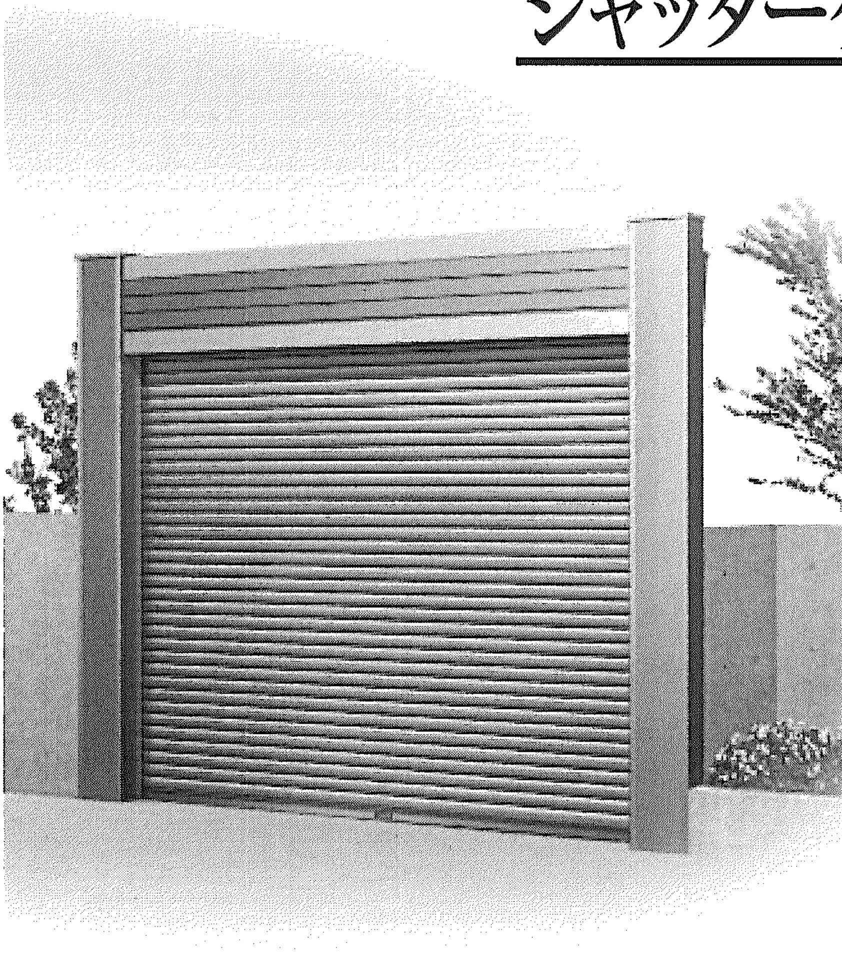
新日軽

シャッターゲートM型
取扱説明書



この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
当製品をご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、『ご使用上の注意』から「操作方法」「異常時の処置」などについて、十分理解されたうえでご使用ください。また、『ご使用上の注意』に記載されている事項は、守らないと重大な人身事故につながる恐れもありますのでよくお読みになり、正しくご使用ください。

INDEX

安全にお使いいただくために‥‥‥‥‥‥ 1
●ご使用上の注意‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1
1.各部の名称‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3
2.操作方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4
3.停電時の操作‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 5
4.障害物検知装置の説明‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
5.異常時の処理‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 7
6.凍結時の対処方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8
7.メンテナンス(定期点検)契約のおすすめ‥‥ 8
8.お手入れ(清掃)方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 9
9.製品保証について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥10

⚠ご注意

当製品には、お客様にとくに注意して正しくご使用いただくために「注意ラベル」をシャッターレール後面に貼り付けてあります。十分理解されたうえでご使用ください。

SHINNIKKEI
新日軽
⚠ご注意

- シャッターケースの積雪が20cmを超えないうちに、必ず雪下ろしをしてください。
- シャッターの開閉中、車や人の出入りはおやめください。挟まれると大変危険です。
- シャッターの開閉が完全に終了したことを確認してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様にとくに注意していただきたい事項には、下記のようなマークと見出しをつけています。
この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

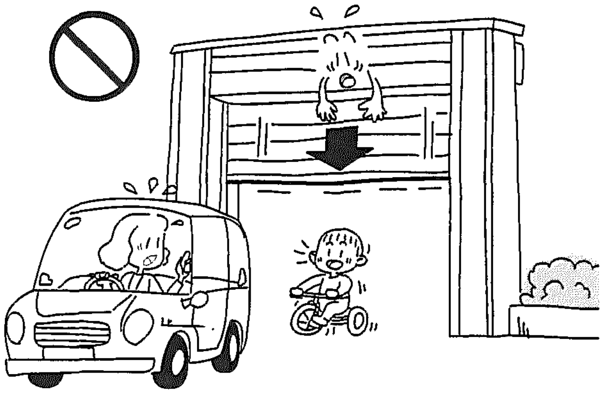
この記号は禁止の行為であることを示しています。（～してはいけません）
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
（～しなさい）

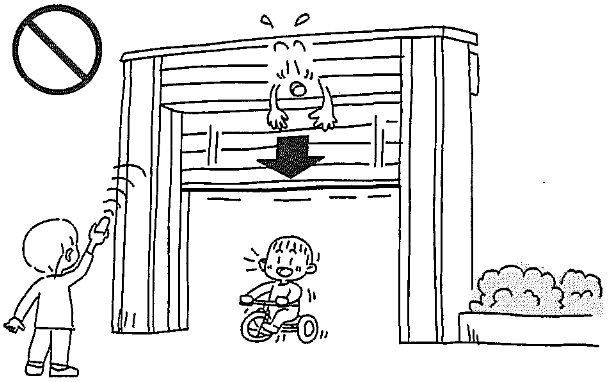
■ご使用上の注意

⚠ 警告

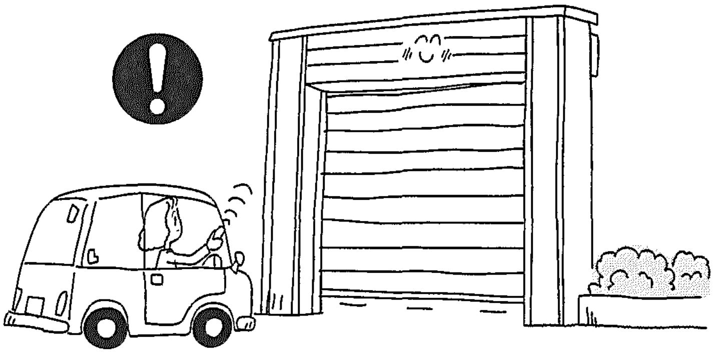
シャッター開閉中は、人や車などの出入りはしないでください。
挟まれる恐れがあり、大変危険です。



いたずら防止のため、お子様には操作させないでください。
挟まれる恐れがあり、大変危険です。

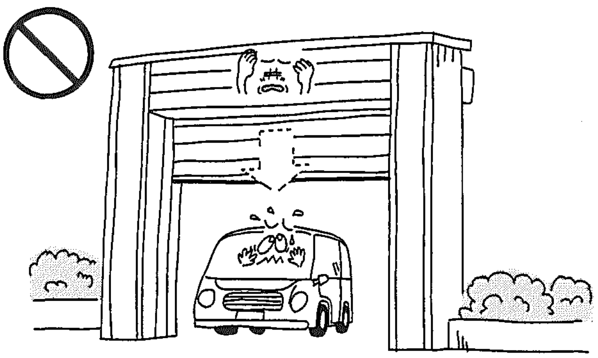


シャッターは必ず見える位置から操作してください。
シャッターの下に人がいたり、物があった場合、挟まれる恐れがあり、大変危険です。

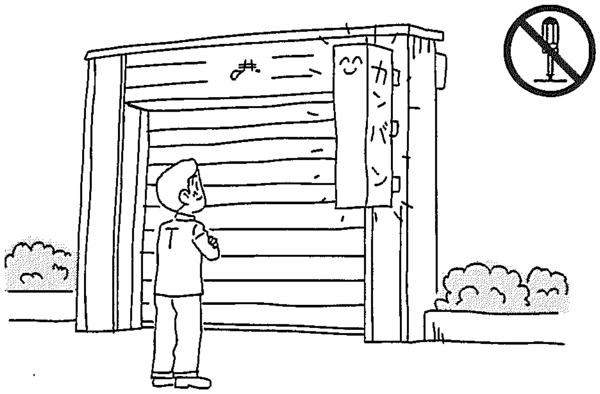


次のような注意を守らないと、重大な人身事故または器物損壊の可能性がありますので絶対におやめください。

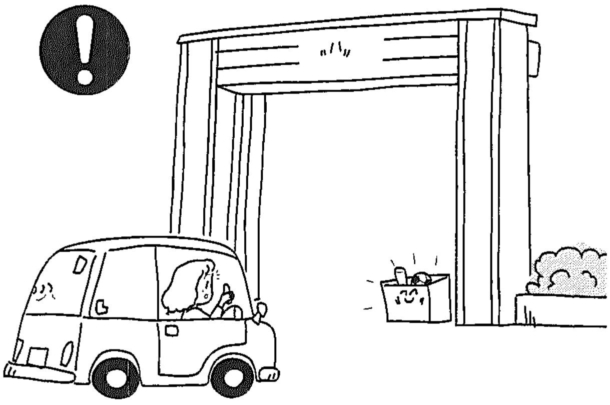
シャッターの下には車や物などを置かないでください。車や物などを壊す恐れがあります。



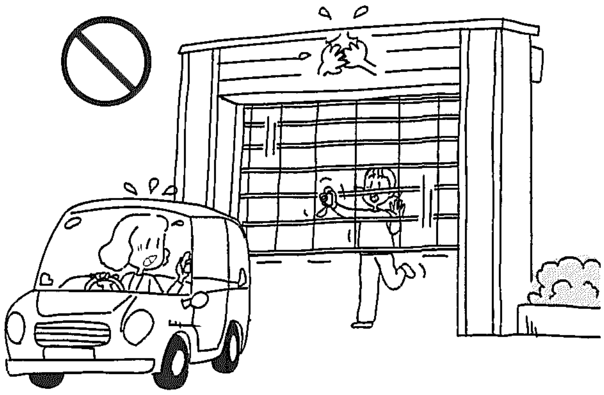
ゲートに穴を開けたり、重量物を取り付けないでください。脱落や本体が破損するおそれがあります。



シャッターの下や周辺に障害物がないことを確認してください。

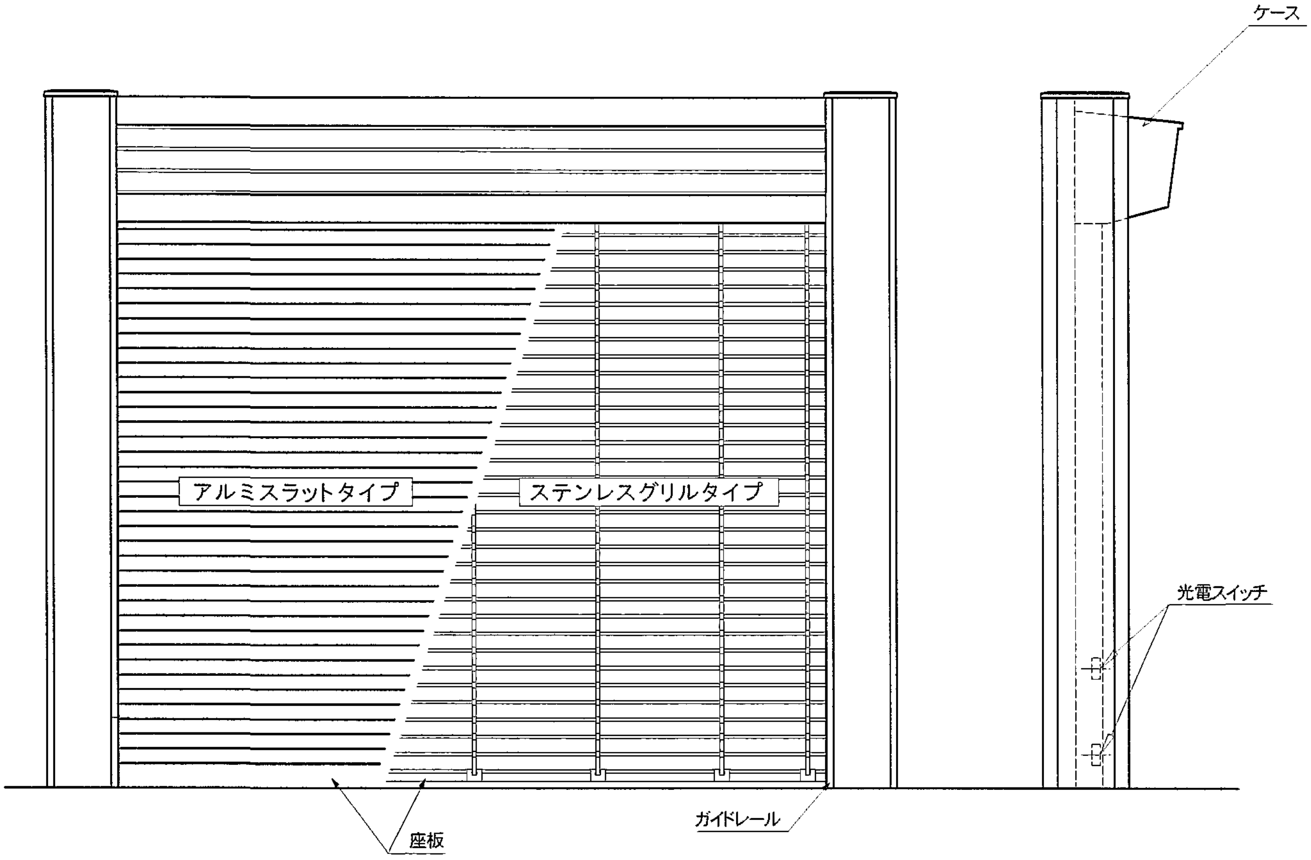


シャッター開閉中はパイプの間に手や腕を差し込まないでください。

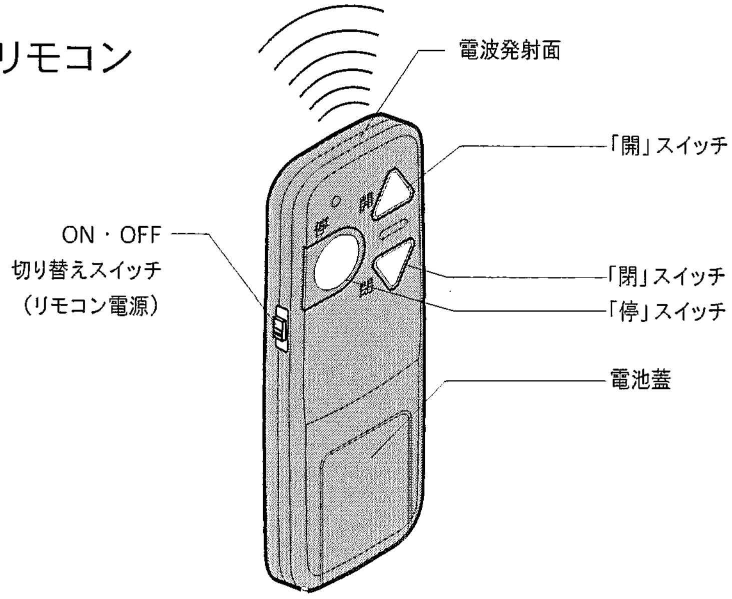


シャッターカーテンやケースに登らないでください。落下したり、シャッターが変形して故障の原因になります。·

1.各部の名称


ケース
アルミスラットタイプ
ステンレスグリルタイプ
光電スイッチ
座板
ガイドレール

リモコン


電波発射面
「開」スイッチ
ON・OFF
切り替えスイッチ
（リモコン電源）
「閉」スイッチ
「停」スイッチ
電池蓋
開
停
閉

2.操作方法

⚠警告

操作前に必ず下記の事項を確認してください。

●危険防止のため子供には操作させないでください。

●操作の前に、シャッターの下や周囲に障害物のないことを確認してください。

●シャッター開閉中は挟まれると危険ですので、車や人の出入りは絶対におやめください。

⚠注意

操作するときは次のことを必ず守ってください。

誤動作防止のために

●電波式無線中継局からの強電界の電波がリモコン装置に加わった場合、到達距離が短くなったり、動作しにくい場合があります。また非常に強力な電波(不法CBなど)がリモコン装置に加わった場合は、誤動作する恐れがあります。

●長時間ご使用にならない場合は、電波障害などによる誤動作を防ぐため、シャッターの電源を切っておいてください。

故障防止のために

●リモコンは電子機器です。雨に濡らしたり、湿気の多い所での使用は避けてください。

●リモコンを投げたり、落としたり、激しい衝撃の加わるような乱暴な扱いは避けてください。

●車のダッシュボード上は、直射日光により非常に高温になりますので、リモコンを放置しないでください。

●冬季に床面の水分が凍結して座板が床に凍りついた場合は、座板付近の氷を砕いてから開放操作してください。

事故防止のために

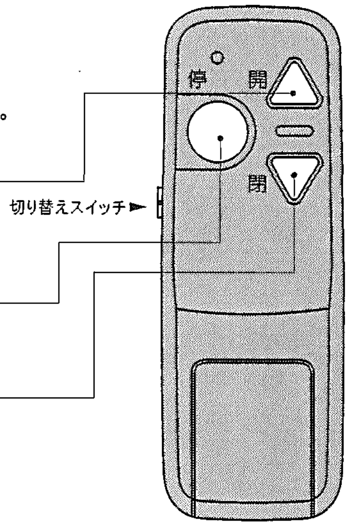
●開閉操作は、シャッターが見える位置から行い、シャッターの下に人や物などがないことを確認してください。

●シャッター開閉中は人や車などの出入りはしないでください。

●リモコンの操作スイッチは同時に2個以上押さないでください。

■リモコン操作

①切り替えスイッチをONにしてください。.
②操作スイッチは1秒以上、確実に押してください。



開放するとき

・「開」スイッチを押してください。
・全開すると自動的に止まります。

停止させるとき

・「停」スイッチを押してください。

閉鎖するとき

・「閉」スイッチを押してください。
・全閉すると自動的に止まります。
・リモコンを持ち歩く際は、誤操作防止のため切り替えスイッチをOFFにしてください·

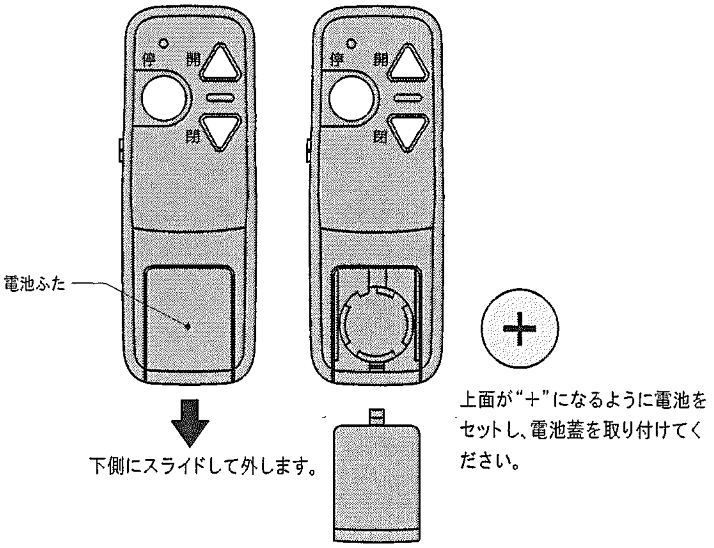
●スイッチを押してもシャッターが動作しない場合には、もう一度スイッチを押し直してください。

●上昇中(降下中)のシャッターを反転降下(上昇)させる場合は、「停」スイッチを押し、一旦シャッターを完全に停止させてから「閉」(「開」)スイッチを押してください。

リモコンを追加で注文される場合は、必ず型式RAX-S33とご指定のうえ、お近くの新日軽各支店·営業所に依頼してください。

●リモコンの電池交換

・リモコンの電池(CR2025型リチウム電池)の寿命は通常の開閉(1日2回以下)で約1年です。
・送信ランプが暗くなったときは新しい電池と交換してください。腐食防止のため、定期的な電池交換をお勧めします。



3.停電時の操作

■停電時の操作（車1台用）

●シャッターの電源を切り、停電復帰を待ってから通常操作で行ってください。

⚠注意

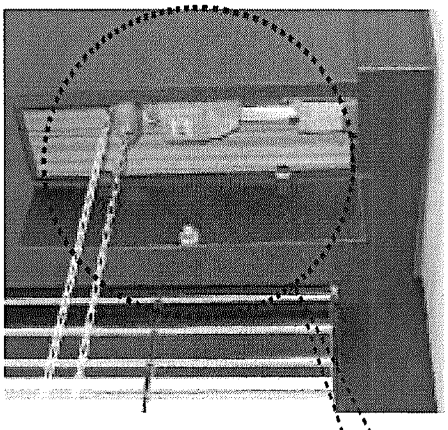
停電時の操作は「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから通常操作で行ってください。やむなく操作する場合は、お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所、または三和シヤッター工業（株）FTS（フルタイムサービス）へ連絡してください。

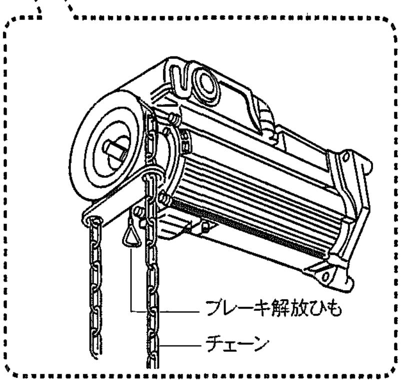
■停電時の操作（車2台用）

⚠注意

停電時の操作は「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから通常操作で行ってください。やむなく操作の場合は、下記の事項を確認してください。

- ●操作用具（チェーン・ブレーキひも）がシャッターケース内に収納されているため、操作上高所作業がともなう場合がありますので注意してください。
- ●操作中に「停電復帰」があり得るので、事前にナイフスイッチまたはシャッターの電源を切ってください。





停電時の操作

①シャッターの電源を切ってください。

②シャッターケース下面の扉のツマミを回して、扉を開き、チェーンを引き出します。

開放する時
- ・開閉機にチェーンが付いていますので、カーテンから遠い方のチェーンを引いてください。
- ・座板がまぐさ近くになりましたら、まぐさの損壊を防ぐため、これ以上チェーンを引かないでください。

途中で止める時
- ・チェーンまたはブレーキ解放ひもを放してください。

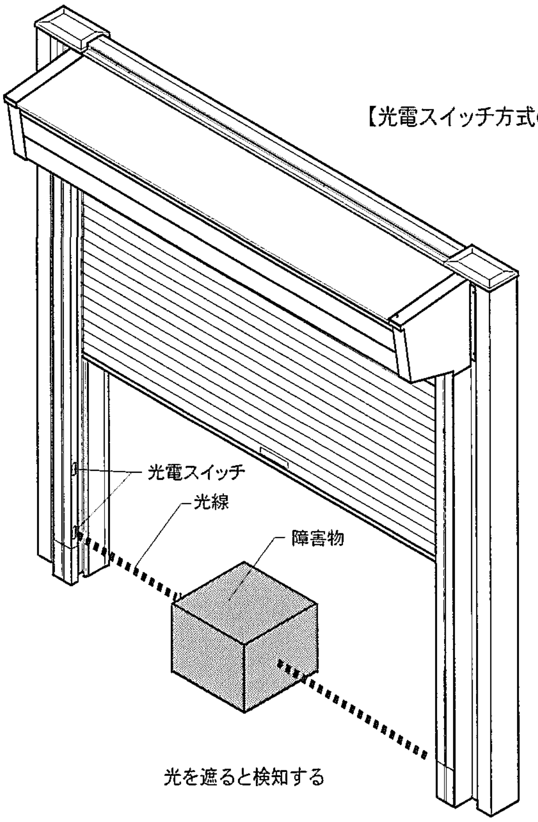
閉鎖する時
- ・ブレーキ解放ひもを引き、座板が床またはフロアーに接地したらブレーキ解放ひもを放してください。

4.障害物検知装置の説明

■光電スイッチ方式

●光電スイッチ方式は、シャッターが下降中に光電スイッチの光線が障害物によって遮られた場合、シャッターを自動的に停止・反転させる装置です。（上昇中は動作しません）

【光電スイッチ方式の構成】



⚠警告

●障害物の大きさおよび障害物の位置によっては、光線が遮らない場合がありますので必ず開閉操作中は、人、物がないことを確認してください。挟まれケガをする恐れがあります。

仕様

検知種類	透過式
電　源	AC100V
検知距離	10m

動作の説明

シャッターが下降中に光電スイッチの光線が障害物で遮られる ▶ 光電スイッチの受光機から開閉機制御盤へ信号を送る ▶ 開閉機の動作を制御してシャッターの下降を停止して、少し反転上昇します。

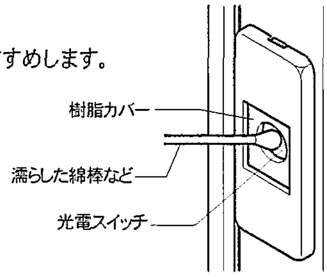
復帰の方法

●障害物を取り除いた後、操作ボタンを押してください。

注）光電スイッチが車輌などを検知していると閉鎖回路が遮断されますので閉ボタンを押してもシャッターは動きません。

■障害物検知装置の点検について

●月1回障害物を置いて押ボタンスイッチを押してもシャッターが下降しないことを確認してください。
●送信面に汚れが付いていないことを確認してください。汚れている場合は、濡らした綿棒などで汚れを拭き取ってください。
汚れがひどくなると、障害物検知装置が動作しなくなります。
●障害物検知装置は自主点検と同様にメーカーによる点検も必要ですので、メンテナンスのご契約をおすすめします。



⚠警告

●障害物検知装置は、定期的に点検が必要です。点検を実施しない場合は障害物検知装置が働かず、人身事故や障害物が破損する恐れがあります。

障害物検知装置に異常がありましたら、お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所、または三和シヤッター工業（株）FTS（フルタイムサービス）へ連絡してください。

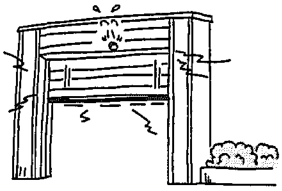
5.異常時の処理

⚠警告

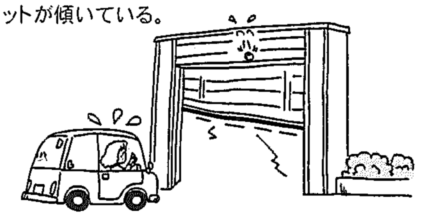
次のような異常がありましたら開閉操作をおや.めください。修理が必要となります。

お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。

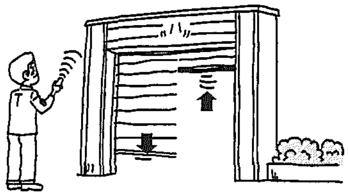
開閉の際、急に今までと異なった音がするようになった。



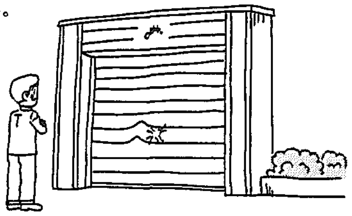
スラットが傾いている。



上限の所定の位置まで上がらない。
下限の所定の位置まで下がらない。



スラットやガイドレールが破損・変形している。



●異常時の処置

異常の内容	原　因	処置方法
リモコンスイッチを押してもシャッターが動かない。	電源が投入されていない。	電源（AC100V）を確認し投入してください。
	ブレーカがＯＦＦになっている。	ブレーカをＯＮにしてください。
	高頻度で動作させたためサーマルプロテクタが作動している。	開閉機が冷えるまでお待ちください。
	制御盤の破損。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	送信機の切り替えスイッチがOFFになっている。	切り替えスイッチをＯＮにしてください。
	送信機の表示灯が点灯しない。	電池を交換してください。
シャッターが上昇しない。	通常の上限位置を超えてしまい、エマーゼンシスイッチが作動している。	シャッターを降下させ、閉鎖ボタンを押しつづけ、シャッターを全閉させてください。
	操作スイッチの開放ボタンの異常。	開放ボタンから手を放してください。
		お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
シャッターが降下しない。	有線式信号装置（コードリール）が断線している。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	操作スイッチの閉鎖ボタンの異常。	開放ボタンから手を放してください。
		お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	光電スイッチの汚れ。	光電スイッチを綿棒等で拭いてください。
「閉」スイッチを押してもシャッターが上昇してしまう。	障害物を検知している。	障害物を取り除いてください。
	光電スイッチの不良。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	光電スイッチの汚れ。	光電スイッチを綿棒等で拭いてください。
押ボタンスイッチを押しているときだけしかシャッターが動作しない。	通常の下限位置でシャッターが停止しなかった（受光部の表示灯が早く点滅している）。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	5回連続で障害物を検知し、停止した（受光部の表示灯が速く点滅している）。	障害物を取り除き、シャッターを一度上昇させてから、再度シャッターを全閉位置まで操作してください（シャッターが完全に停止するまでスイッチを押しつづけてください）。
		床面の状態などが変わった場合は再度調整が必要となりますのでお取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。
	通常の上限位置を超えてしまい、エマーゼンスイッチが作動している。	シャッターを全閉位置まで操作してください（シャッターが完全に停止するまでスイッチを押しつづけてください）。
床面でタッチアップしてしまう。	設定された時間をオーバーしてもシャッターが停止しない。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してくだ
	下限リミットスイッチの不良。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してくだ
リモコンの操作距離が短い。	送信機の電池容量不足。	電源交換を行ってください。
	電池ブタが浮き上がっている。	電池ブタを奥まで押し込んでください。
	電池の腐食による接点の錆。	電池を交換してください。
	送信機のスイッチが押されていない。	約1秒程度は操作してください。
	アンテナの見えない位置から操作をしている。	必ずアンテナの見える位置から操作してください。
	電波環境が悪くなった。	専用ブースターを追加してください。
		使用される車種により通達距離は異なります。
開放→停止後、自動的にシャッターが降りてくる。	ブレーキが解放されている。ブレーキの故障。	お取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所へ連絡してください。

6.凍結時の対処方法

⚠注意

冬期にシャッターが凍結することにより、開閉できなくなることがありますが、故障ではありません。

シャッターの凍結は、開閉時に大きな抵抗となります。無理に開閉操作をせず、次の対処を行ってから開閉操作をしてください。

座板が床面の水分の凍結により凍りついたとき

●シャッターが凍結している場合に開閉操作を行いますと、予期せぬ故障や開閉不良を引き起こす可能性があるため、融けるまで待ってから、操作してください。
●緊急を要する場合には、バールやスコップなどを使用して、床面との凍りつきを取り除いてから操作してください。
ただし、バールやスコップなどを使用した際、床面やシャッターに傷がつくことがありますので、注意してください。

スラットが水分（雪、結露など）の凍結により凍りついたとき

●スラットを前後にゆすって、付着した雪や凍結部分を取り除いてください。
●凍結部分が除去できない場合には、融けるまで待って操作してください。
●凍結したまま操作すると、スラットに傷がついたり、スラットの塗膜の剥離を招くことがあります。また、スムーズな開閉ができなくなる可能性があります。

その他の注意事項

●周囲温度が−10℃以下の寒冷地では、リモコン到達距離が短くなる傾向があります。
●外部付けタイプの場合、ケースの上の雪かきをしないと、積もった雪の重さでケースが変形する可能性があります。

7.メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ

⚠警告

適切な定期点検をしない場合は、次のような危険が発生する恐れがあります。

●部材の摩耗、劣化、変形などによりシャッターが落下し生命にかかわる人身事故の恐れがあります。
●故障の場合修理費が増大し、修理期間が長引く恐れがあります。

■定期点検について

定期点検には専門知識と高度な技術が必要です。また、危険も伴いますので、専門メーカーにおまかせください。

1. 点検チェック内容

●開放状態の点検　●閉鎖状態の点検　●開閉機構の点検　●作動状態の点検
各製品ごとにチェック内容が分析され、詳細な検査内容と点検内容がリストアップされ、実施されます。

2. 契約内容

定期点検実施回数（年間）を定め、実施する月および契約期間、契約料金を決めます。

●点検回数の基準

1日あたりの開閉頻度	定期点検回数（年間）
1〜2回	2回
3回以上	打合せによる

●定期点検回数はシャッターの大きさ、経過年数、使用条件、環境条件および用途により点検回数が異なりますので弊社へ相談してください。
●点検回数の相談対象設置例
海岸沿建物、その他雨水にさらされる場所など（台風などによって雨水にさらされた場合など）。

3. 報告

●性能、安全性、機能について、保守点検基準に基づいて行った点検結果を報告します。点検により異常を認めた場合、協議のうえ処置します。

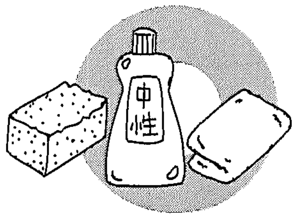
●メンテナンス契約についてはお取り付けの施工店、またはお近くの新日軽各支店・営業所に連絡ください。

8.お手入れ（清掃）方法

⚠注意

お手入れには下記の事項を必ず守ってください。

●お手入れを行う時、高所作業の場合は足場の安全を確保してから行ってください。
●清掃中に、他の人にシャッターを動かされると大変危険ですので、必ず「清掃中」とわかるように表示してください。



■清掃方法（ステンレス、アルミ共通）

汚れが軽い場合

濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合 次の手順で清掃してください。

1.まず、水で汚れを洗い落としてください。
2.水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めてスポンジまたは布で拭き取ってください。
3. 表面に洗剤と汚れが残らないように十分に水洗いしてください。
4. 乾いた布で水分を拭き取ってください。
　*酸性やアルカリ性の洗浄剤は使用しないでください。サビや変色の原因となります。
　*金属たわしやワイヤブラシなどは使用しないでください。表面が傷ついてしまいます。

●スラットやガイドレールの表面にほこり・塩分などがついたまま放置しておくと、サビが発生する原因になりますので、定期的に清掃してください。

〈ステンレスグリルシャッター及びステンレス製品の注意事項〉

●ステンレス材はサビにくい材料ですが、絶対サビない材料ではありません。しかも、通常はステンレス材は素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃も頻繁に必要となります。
●なお、初期のサビであれば「清掃方法＜汚れがひどい場合＞」で除去できます。
●サビがひどい場合はステンレス用サビ落としの専用クリーナーを購入してください。また、専用クリーナーをご使用の際は注意書きをよく読んでからご使用ください。

〈アルミ製品の注意事項〉

●アルミスラットは、開閉によりスラット表面のクリア塗装がはがれ、白い粉がでますので濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

〈清掃回数目安〉（1年あたりの回数）

材質　環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス（素地）	10～20	6～10	4～8	2～4
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	0.5～2	0.5～1

〈ステンレスグリルシャッター及びステンレス製品の錆について〉

ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜か形成されるからです。
この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。
そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので錆が発生することがあります。従って、ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、むしろ「錆びにくい」金属と言えます。
錆が発生するのは、例えば次のような場合です。
　・塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
　・海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合(注意)
この他、ステンレスが錆びる要因として、「もらい錆」と言われるものがあります。
「もらい錆」とは、例えば鉄くぎの錆が表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。
錆は台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合、表面にこすり傷がつくことは避けられません。「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行してステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。
一旦発生した錆は落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から中性洗剤でこまめにお手入れをしてください。錆の発生を防ぐことができます。

（注意）海岸地帯、工業地帯などの環境では比較的早く錆が発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生します。このような場合には、錆が発生する前にこまめにお手入れ（清掃）する必要があります。

9.製品保証について

対　　象	シャッターゲート	
保障期間	ゲート部分	製品引渡し後　満2年間
	シャッター部分（電装部分含む）	製品引渡し後　満1年間

保証内容　取扱説明書の「ご使用上の注意」に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合は無償修理いたします。ただし、最寄りの当社営業所より100km 以上および離島へ出張する場合は交通や宿泊に要する実費をいただきます。
また、保証期間中でも、次の場合は有償となります。

1.使用上の操作誤りによる故障および製品の損傷。
2.不当な修理や改造による故障および製品の損傷。
3.環境および使用状態が悪い場所での故障および製品の損傷。
たとえば、海岸地帯での塩害による製品の損傷、車の排気ガスの反応物質が付着して起こる腐食、低温・多湿による故障および製品の損傷。
4.火災・地震・風水害・落雷などの天災地変による故障および製品の損傷。
5.施工完了後の、移動移設による損傷または故障。
6.保証者の表示した取り扱い方から逸脱したもの（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したアルミ部材等の汚れのお手入れ）。
7.本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

ーお願いー

この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施工完了日	年　　　月　　　日
施工工事店	TEL（　　　）　ー
販売店	TEL（　　　）　ー
商品名	

新日軽株式会社

本社/〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1(ゲートシティ大崎ウエストタワー)

お客様商品相談室 0120(37)2534

取説コード：ZZA−5075　平成18年4月現在

新日軽インターネットホームページ http://www.shinnikkei.co.jp

エクステリア事業本部

東日本エクステリア支店☎03(5759)2211

営業一課 ……………… 03(5759)2290
営業二課 ……………… 03(5759)2292
仙台エクステリア営業所 ・022(297)3354
北関東エクステリア営業所 ・048(684)8583
東関東エクステリア営業所 ・04(7162)3500
横浜エクステリア営業所 ・045(641)2280
市場開発課 …………… 03(5759)2210
景観課 ………………… 03(5759)2212

名古屋東海エクステリア支店☎052(731)1920

名古屋エクステリア営業所 ・・052(731)1923
静岡エクステリア営業所 ・・054(289)6131

大阪エクステリア支店☎06(6479)3232

大阪エクステリア第一営業所 ・・06(6479)3234
大阪エクステリア第二営業所 ・・06(6479)3234
市場開発課 ……………06(6479)3233
景観課 ………………… 06(6479)3233

中四国エクステリア支店☎082(544)4144

広島エクステリア営業所 ・・082(544)4144
岡山エクステリア営業所 ・・086(243)9419
高松エクステリア営業所 ・・087(831)7308

九州エクステリア支店☎092(523)8890

福岡エクステリア営業所 ・・092(523)8890
福岡エクステリア熊本出張所 ・・096(366)0575
福岡エクステリア南九州出張所 ・・099(269)9166

住宅建材取扱い支店

札幌支店 ……………… 011(219)7511
東北住宅建材支店 ………022(297)3364
関越住宅建材支店 ………027(328)2881
関東住宅建材支店 ………03(3842)7123
長野支店 ……………… 026(224)2878
静岡住宅建材支店 ……… 054(289)6117
中部住宅建材支店 ……… 052(731)1911
大阪住宅建材支店 ……… 06(6390)1331
中四国住宅建材支店 ………082(544)4134
九州支店 ……………… 092(523)7488